

灸道湖

第185号

2021年4月



ニューフェイスと満開の桜

今年度も桜が満開の時期に撮影することができました。今年は新規採用の看護師6名を迎えました。みんなで松江医療センターを支える土台となれるよう成長していきます。

もくじ

新年度のご挨拶	2
教育研修部コラム「許す。光る。」	3
異動者紹介	4
病棟紹介	5
ディープフリーザー	6
コロナワクチン到着	6～7
コロナワクチン接種	7

老人看護専門看護師としての活動紹介	8
新人紹介:新人看護師の1年間を振り返って	8
松江緑が丘養護学校卒業式	9
人事異動	9
開業医紹介	10
地域医療連携室だより	11
外来診療表	12



新年度のご挨拶

院長 井岸 正

例年のように松江医療センターの敷地内でも桜の花が咲きほこり、新年度を迎えました。新卒や転勤にて新たに松江医療センターの職員となった方々が着任しましたが、各部署で活躍されることを期待しているところであります。

例年であれば、新年度の抱負や目標などを述べるところではありますが、今年度は違うと感じるのは私だけでしょうか。言うまでもなく昨年より日本中で、いや、世界中で猛威をふるっている新型コロナウイルス感染症のための不透明感や抑圧感のためであります。今年の2月にワクチンが認可され、当院では職員に対する先行接種が2月19日より県内では最も早く開始され、ほぼ一巡しております。当初はワクチン接種により新型コロナ感染は抑え込まれ、早期に日常が戻ってくるとの期待感や高揚感がありました。実際、ワクチン保存用の冷凍庫の搬入や院内でのワクチン接種に対するテレビや新聞の報道ぶりはその表れであったかとも思っております。ただ、ここへきて感じるのは一般の方々へのワクチン接種のスピードは期待していたよりも遅いということであります。それに加えて、変異株の広がりや不気味さをもって報道されています。昨年末からの流行の第3波が終息したのかわからないうちに、第4波もあり得る状況であります。最近、鳥取県内で大きなクラスターが発生し、島根県でも更なる警戒が必要

であります。

希望が持てるのは、ワクチン接種が最も進んでいるイスラエルの状況で、新規感染や死者の激減が観察されています。これがワクチン接種の進んだ未来の日本の姿であることを期待しつつ、警戒を維持しながら診療を行うのが当面のスタンスです。

昨年度は病院経営的にも非常に苦しい状態でありました。そのような中であって、結核専用病床の12床から6床への削減と、3階病棟の受け入れ患者多様化のための設備整備が行われました。松江医療センターは呼吸器疾患と神経難病、筋ジストロフィー、重症心身障害を主な診療対象疾患としてきましたが、これが大きく変わることはありません。ただ、病床機能を含めて変化に柔軟に対応していくことは必要だと考えています。今年度も新型コロナ感染に対しながら、安全に地域医療へ貢献し、セイフティネットとしての政策医療を実行する年度との認識であり、皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げる次第です。





～ 教 育 研 修 部 コ ラ ム ～

“ 許す。光る。 ”

呼吸器内科医長・教育研修部長 門脇 徹

まだまだこの“とんでもない世の中”は続いています。皆さんお元気でしょうか？この2月から当院も参加したいいわゆる先行接種からワクチン接種が始まっています。もちろんまだまだ油断もできませんし、まだまだ“とんでもない”状況は続きますが、事態が好転することを心から願ってやみません。

さて、この原稿が世に出るのは2021年4月下旬。時間だけはちゃんと流れていきますね。新しい職員をお迎えする（している）シーズンです。特に新人さんは学生から社会人になるという大きなgapを体験していることでしょう。社会人と同時に医療人にもならなくてはいけないのですから大変です。今までも何度かこの時期の本コラムにはそのgapの乗り越え方を記しています。ご興味があれば読んでいただければと思います。

当院でもコロナ禍では慣れないことをたくさんやってきました。「日常と非日常を行ったり来たりする日常」…これはなかなか大変な日々です。もちろんまだ終わったわけではなく、これからも「行ったり来たり」がしばらくは続くものと思います。「通常の日常」でもなかなか大変なのですが、「日常＝非日常」になるのは並大抵のストレスではありません。

まぁ自分も昨年の予定は全て吹っ飛びました。実はとある学会の総会で海外のご高名な先生をお迎えしてのランチョンセミナーの座長を仰せつかっておりましたが、コロナ禍で来日できず。そのために自分の中で数ヶ月かけて準備していたものも全て水泡に帰してし

まりました。残念でしたが仕方ありません。

こんな時には「言葉」が欲しくなります。

とある本にあったマザー・テレサの言葉。「人はしばしば不合理で、非論理的で、自己中心的です。それでも許しなさい。」と。「人」を「このとんでもない世の中」と置き換えてみました。「許す」というほどの大局には私は立っていませんが、コツコツと「日常」をこなしながらやるべきことをやる…。これが大切なのだなぁと受け止めました。

自分が一番響いたのはこれです。清沢満之の言葉。

「光ったナイフは草原の中に捨てられていても、いつか人が見出すものだ。」

そうっすよね。光るしかないっすよね。光るように日々コツコツやるしかないっすよね。なんか納得しちゃいました。

行きたいところにも行けません。やりたいこともなかなかできません。なんか全体的に停滞してしまいます。せっかちな私はそんなところにイライラしてしまいますが、その停滞も「許す」ことにしました。パンと明けた時に「草原で光って」いられるように、今エネルギーを貯めておこう、そんな風に考えています。こんな時には人類の先達の素晴らしい「言葉」が支えになり、自分はこうして癒されています。

皆様どうか心と体を大事にしてください。教育研修部は今年度も頑張ります！

異動者紹介

栄養管理室長 伊東陽子 - いとうようこ -

南岡山医療センターより異動してまいりました。

初めての松江、初めての単身赴任で非常に緊張している反面、20数年ぶりの一人暮らしに少々寂しくもあり、反面新鮮な気持ちもあり、またとても寒がりなので松江の冬に不安を感じております。

こんな私ですが、少しでも早くこの松江の地に馴染み、いつも笑って仕事をしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



3F看護師長 井澤俊二 - いざわしゅんじ -

岡山医療センターより転任で参りました。出身は鳥取県ですので山陰に戻って働くことができて非常に嬉しく思っています。

未熟なところがありますが、皆様のお役に立てるよう日々頑張っていく所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

専門職 後口征司 - うしろぐちせいじ -

浜田医療センターから異動してまいりました。

松江医療センターでの勤務は初めてですが、1日も早く新しい環境に慣れて皆様のお役に立てるよう頑張ります。

病院で見かけましたらお気軽にお声掛けください。

どうぞよろしくお願い致します。



臨床検査技師長 柿木良三 - かきぎりょうぞう -

米子医療センターから異動をしてまいりました。

松江での勤務は初めてとなります。環境、仕事に早く慣れ少しでも皆様に貢献できるよう前に進ませていただきます。

どうぞよろしくお願い致します。

看護部長 貫目志保 - かんめしほ -

長島愛生園から異動して参りました。松江と言えば昔、松江城のお堀巡りをしたことを思い出します。将来、まさか自分がこの地で勤務するとは夢にも思わない船遊びでした。人生（人事）はご縁、予想外の縁に恵まれると実感しております。とにもかくにも置かれた場所で、自分にできることを精一杯させて頂く所存でございます。どうかよろしくお願い致します。



地域連携室 看護師長 田村浩子 - たむらひろこ -

この度浜田医療センターから転任し、松江医療センターには、7年ぶりに勤務させていただくことになりました。前は、外来棟ができたばかりだったので、整備された病院を見ることができうれしく思います。地域連携室と初めての部署で緊張しますが、自分に何ができるか考えながらやっていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。



1階病棟 看護師長 榎本治美 - えのもとほるみ -

4月から松江医療センターで勤務しております。

この度、岡山医療センターより配置換えとなりました。

早く慣れて1階病棟の患者さんの気持ちや状態を理解した関りができ、1階病棟スタッフ皆さんの仲間になれるよう頑張っていきたいと思っております。

どうぞよろしくお願い致します。

1 階病棟

1 階病棟 看護師 三島みさと

1 階病棟は、筋ジストロフィーと神経難病（主に ALS）の方が入院をされている病棟です。

長期間の入院で療養生活を送っておられる方が多く、患者さんの生活の場となっています。

神経難病の患者さんのほとんどが気管切開を行い、人工呼吸器を装着しておられます。気管切開のため声をだしてお話はできませんが、文字盤やパソコンなどのコミュニケーションツールを使って患者さん個々に合わせた方法でコミュニケーションをとっておられます。

例年、病状が落ち着いていれば、人工呼吸器をつけたまま医師や看護師などの職員や家族の方と一緒に、外出行事として近隣の施設へお出かけもされます。外出行事が難しい患者さんは、療育活動として出張の音楽会に参加されたりしています。筋ジストロフィーの患者さんは、ベッド上の生活の方もおられますが、車椅子でパソコンや七宝焼、編み物教室に通うなど、自由に趣味を楽しんでおられます。また、病棟でカラオケを行うなど気分転換もされています。これからも心豊かに生活していただけるよう、支援をさせていただきます。



5 階病棟

5 階病棟 看護師 藤原 月美

5 階病棟は、呼吸器科の外科、内科の病棟です。主に肺がん・気胸・膿胸・間質性肺炎・慢性閉塞性肺疾患などの患者さんが入院しておられます。周手術期、急性期から慢性期、終末期期の患者さんの看護を幅広く行っています。

カンファレンスを充実させ、受け持ち看護師を中心に他のスタッフと協力して患者さんにより良い看護が提供出来るよう取り組んでいます。

退院支援カンファレンスは、患者さんの意向に沿った退院先の検討や、退院後の生活を見据え入院中からケアや指導を行うためにリハビリや地域医療連携室とともに行っています。

また緩和ケア認定看護師を中心に、亡くなられた患者さんに対しどんな介入がよかったのか、必要だったのかを振り返る話し合いも行っています。これらは看取りにかかわった看護師のメンタルケアや思いを共有する場でもあります。これらのことを通して患者さんやご家族さんの希望に沿うような看護につなげていくために日々スタッフみんなで頑張っています。



ディープフリーザーが来ました

庶務班長 森谷 伸明

令和3年2月7日（日）14時頃、テレビ局3社が待ち構える中、ディープフリーザーが正面玄関に到着しました。



この度、当院は新型コロナウイルスワクチン先行接種の病院に選ばれました。ワクチンを保管するためには超低温冷凍庫が必要です。このディープフリーザーはマイナス80度まで超低温状態で保存することが可能ですので安全にワクチンを保管することができます。

運搬から設置までの模様はこの日の夕方のニュースで放送され、この日、島根県以外の病院にもディープフリーザーが届けられたとのことでした。翌日にもテレビ局と新聞社が取材に来て、その様子が当日のニュースで放送され、新聞の記事にもなりました。普段はマスコミの取材を受けることは稀です。今回の取材は、コロナ禍のニュースの中でもコロナ禍収束に向かうための明るい話題としてマスコミの関心の高さの表れかもしれません。市民にとっては一日も早くコロナ禍の収束を待ち望んで止まないのと言うまでもないと思います。

一年以上経ってもその日のテレビのニュース番組のトップニュースがコロナ禍であることが多いと感じます。その中でコロナ禍収束のための明るい希望の一つとして多くの人に伝わったと思います。



コロナワクチンが来ました

庶務班長 森谷 伸明

令和3年2月18日（木）15時半頃、マスコミ各社が待ち構える中、コロナワクチンが正面玄関に到着しました。

先日、当院にディープフリーザーが到着したことがニュースになり、その熱が冷めぬ中、この日、山陰地方にコロナワクチンが到着しました。この日は日本海側を中心に大雪に見舞われ、当院は早朝から職員が除雪作業を行いました。

この日の山陰地方各放送局の夕方のニュース番組では山陰地方にコロナワクチン到着のニュースで持ちきりで当院の様子も放送されました。



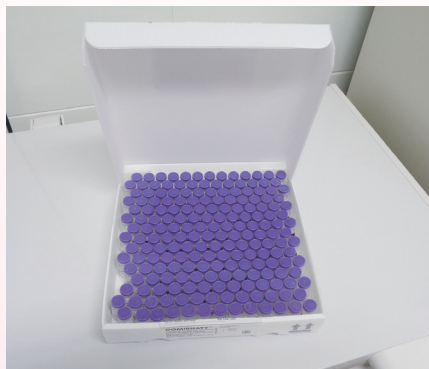
そこでここではニュースには映らなかった画像を紹介します。

この写真は他のニュースでもその映像を見たことがあると思いますが、後日、ワクチンを生理食塩液で希釈する前に撮影しました。ニュースで見たのと同じく紫色のような色のキャップをしています。



もう一枚は、ワクチン接種当日、その直前にワクチンを生理食塩液で希釈する様子を撮影したものです。薬剤師の方が慣れた手つきで1本1本作業を行っています。

当院は、2月19日（金）、22日（月）、24日（水）に当院職員の内、希望者を対象にワクチン接種を行いました。一日も早くコロナ禍が収束することを願います。



コロナワクチン接種をしました

庶務班長 森谷 伸明

令和3年2月22日（月）当院に山陰地方のマスコミ各社が当院で行うコロナワクチン接種の様子を取材に来ました。

当院は2月19日（金）、22日（月）、24日（水）に1回目のワクチン接種を行いました。2月18日（木）にワクチンが到着した翌日から行いました。3月末までに2回のワクチン接種を完了させるためには1回目の実施日程を2月末までに行う必要があったのです。

2回目のワクチン接種は3月12日（金）、3月15日（月）、3月17日（水）、3月19日（金）の4日間で行われました。3月12日にもマスコミ各社が取材に来ました。

この日の様子は山陰地方各放送局のニュース番組で放送されました。池田統括診療部長のインタビューもあわせて放送されました。

2月は他の月より日数が少ないのですが、その1か月の間にすべてがギュッと詰まった月でした。7日にディープフリーザーが到着し、18日にワクチンが到着して、その翌日からワクチン接種を行いました。



そういえば2月は立春、つまり冬から春に季節が移りつつある月です。全国的にこの2月はコロナワクチン接種を通じてコロナ禍から日常に移りつつある月になるかもしれないのです。

今思えば、当院が新型コロナウイルスワクチン先行接種の病院に選ばれてから2回目のコロナワクチン接種を終えるまでであったという間でした。将来この日が、人類がコロナに打ち勝った第一歩になったとみなさんの記憶に残るかもしれません。私たちはその歴史の立会人になれたのかもしれません。こうした経験ができたことは医療機関に従事する者として仕事冥利に尽きると感じました。

老人看護専門看護師としての活動紹介

4階西病棟 老人看護専門看護師 山根 裕子



1月27日に、厚生センター八雲の介護職員の方を対象にACP（アドバンス・ケア・プランニング）についての研修会を行いました。約1時間の講義のあと、事例を通して利用者さんの価値観や大切にしているもの、譲れないことなど「想いのかけら」を見つけるというワークを行いました。グループワークでは、「こういう場面あるね」といった声も聞かれ、実際のやり取りの場面と照らし合わせながら、何気ない日常会話のなか



にある「想いのかけら」に気づき、それをキャッチすることの大切さについて一緒に考えることができました。質疑応答の際には、職員の皆さんが行っている利用者さんの想いを大切にしたい日々の関わりについて知ることができ、私自身も学ぶことができました。「医療の場」「生活の場」それぞれの場でキャッチしたその人の大切な「想いのかけら」を、途切れることなく一緒につないでいきたいと思っています。



新人紹介

新人看護師の1年間を振り返って

看護部 4階西病棟 武田伽奈子



当院へ就職してから1年が経ちます。不安や緊張をたくさん抱えながら入職したことを今でも覚えています。はじめてのことばかりで右も左もわからないような私に、先輩方は丁寧に指導してくださいました。徐々に技術を身につけ自立していくにつれ、責任をより強く感じるようになりました。多重課題になったときなど業務の優先順位に対して悩むこともありますが、先輩方へ相談・フォローしていただきながら成長させていただいています。また、日々の業務で精一杯となり専門的な知識や技術に対する学習が追い付かず、自己の課題に対して目を背けたいこともありました。そんな中、患者さんに名前を覚えていただき「看護師さん」ではなく「武田さん」と呼んでいただくこと、ケアや処置時に「ありがとう。」と言っただけが日々の励みになり自己を見つめ直す機会ともなります。新人としての1年間はあっという間に過ぎ、2年目を迎えます。まだまだ未熟ですが、患者さんやその家族から信頼していただけるような看護を提供できるよう学び続けていきたいです。



松江緑が丘養護学校卒業式



療育指導室長 野津 悦子



当院の2階病棟に入所されている学齢の患者さんは、隣接する島根県立松江緑が丘養護学校の教育を受けておられます。一人ひとりの病状に合わせ、毎日登校して授業を受けられる方や学校の先生が病室にいられてベッド上で授業を受ける方などおられ、一人ひとりの病状に合わせたきめ細やかな教育が行われています。

この松江緑が丘養護学校の卒業式が、3月9日に2階病棟でご家族をはじめ、学校の先生や主治医の先生、病棟のスタッフなど多くの人に見守られ、挙行されました。

式は校長先生のはなむけの言葉が送られたあとは、一緒に学んだ在校生からのお祝いメッセージや卒業生の旅立ちのビデオの紹介など

があり、とても温かな雰囲気で行われました。2名の卒業生は、終始、堂々としたとても立派な姿で式に臨んでおられました。

病気や障害があり、歩みのスピードは一人ひとり違いますが、一歩ずつ、成長されていった足跡がはっきりと残されていたと思います。

4月からは、新たな生活がスタートします。校長先生からの言葉にあったように笑顔で過ごし、皆さんにたくさんの楽しい出来事が訪れることを願っています。

ご卒業おめでとうございます。



人事異動

発令月日	事項	職名	氏名	備考
3月31日	退職	臨床検査技師長	高橋 仁司	
3月31日	退職	看護部長	村田 緑	
3月31日	退職	副看護部長	平野 京子	
3月31日	辞職	呼吸器科医長	多田 光宏	
4月1日	昇任	副薬剤部長	原 太一	山口宇部医療センターへ
4月1日	昇任	理学療法士	車田 良介	浜田医療センターへ
4月1日	昇任	作業療法主任	足立 崇	浜田医療センターへ
4月1日	昇任	看護師長	小林 里美	鳥取医療センターへ
4月1日	昇任	庶務係長	田邊 利明	南岡山医療センターへ
4月1日	退職	栄養管理室長	堺 千賀子	
4月1日	配置換	庶務班長	星原 昌美	広島西医療センターへ
4月1日	配置換	契約係長	杉原 義朗	四国がんセンターへ
4月1日	配置換	副診療放射線技師長	藤本 和男	関門医療センターへ
4月1日	配置換	副臨床検査技師長	松本 学	鳥取医療センターへ
4月1日	配置換	看護師長	戸野 佳子	米子医療センターへ
4月1日	配置換	看護師長	山田 成功	鳥取医療センターへ
4月1日	採用	看護部長	貫目 志保	長島愛生園から
4月1日	昇任	製剤主任	谷 聡美	岡山医療センターから
4月1日	昇任	副診療放射線技師長	池野 順雄	四国こどもとおとなの医療センターから
4月1日	昇任	医化学主任	中嶋 美香	鳥取医療センターから
4月1日	昇任	病理主任	小早川 奨	米子医療センターから
4月1日	昇任	副理学療法士長	安川 達哉	岡山医療センターから
4月1日	昇任	理学療法主任	長谷川 慧	鳥取医療センターから
4月1日	昇任	作業療法主任	佐々井 玄徳	福山医療センターから
4月1日	昇任	専門職	後口 征司	浜田医療センターから
4月1日	配置換	副薬剤部長	山足 敏昭	高知病院から
4月1日	配置換	臨床検査技師長	柿木 良三	米子医療センターから
4月1日	配置換	栄養管理室長	伊東 陽子	南岡山医療センターから
4月1日	配置換	看護師長	横本 治美	岡山医療センターから
4月1日	配置換	看護師長	井澤 俊二	岡山医療センターから
4月1日	配置換	看護師長	田村 浩子	浜田医療センターから
4月1日	配置換	庶務係長	岩永 征志	岡山医療センターから
4月1日	配置換	契約係長	佐々木 俊彦	中国四国グループから

開業医紹介コーナー

病病・病診連携 No.32

松江市国民健康保険来待診療所

来待地区は人口約3000人で他に医療機関や薬局はなく高齢化率も高い地域です。診療所の歴史は古く、昭和25年設立された来待村国民健康保険組合直営診療所が前身で、私は平成16年に赴任しました。

民間の進出が期待できない地域の医療確保の目的で設置されている公立医療機関のため、患者数は多くなくとも諸々の患者を診る必要があります。外来診療、健診、予防接種等、小児から老人まで幅広く対応しています。自力で受診できない高齢者には在宅診療も行っています（往診、訪問診療、訪問看護）。

最近では松江医療センターとは呼吸器疾患だけでなく、認知症や神経難病等の患者さんで連携をとることが多くなってきました。コロナ禍ではありますが、できる範囲内で今後とも連携をよろしくお願い致します。

所長 山田顕士 先生
松江市宍道町上来待213-1
TEL:0852-66-00025

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○		
16:00~18:00	○	○		○	○			

休診日: 日曜日 祝日



地域医療連携室だより 第42号 2021年4月

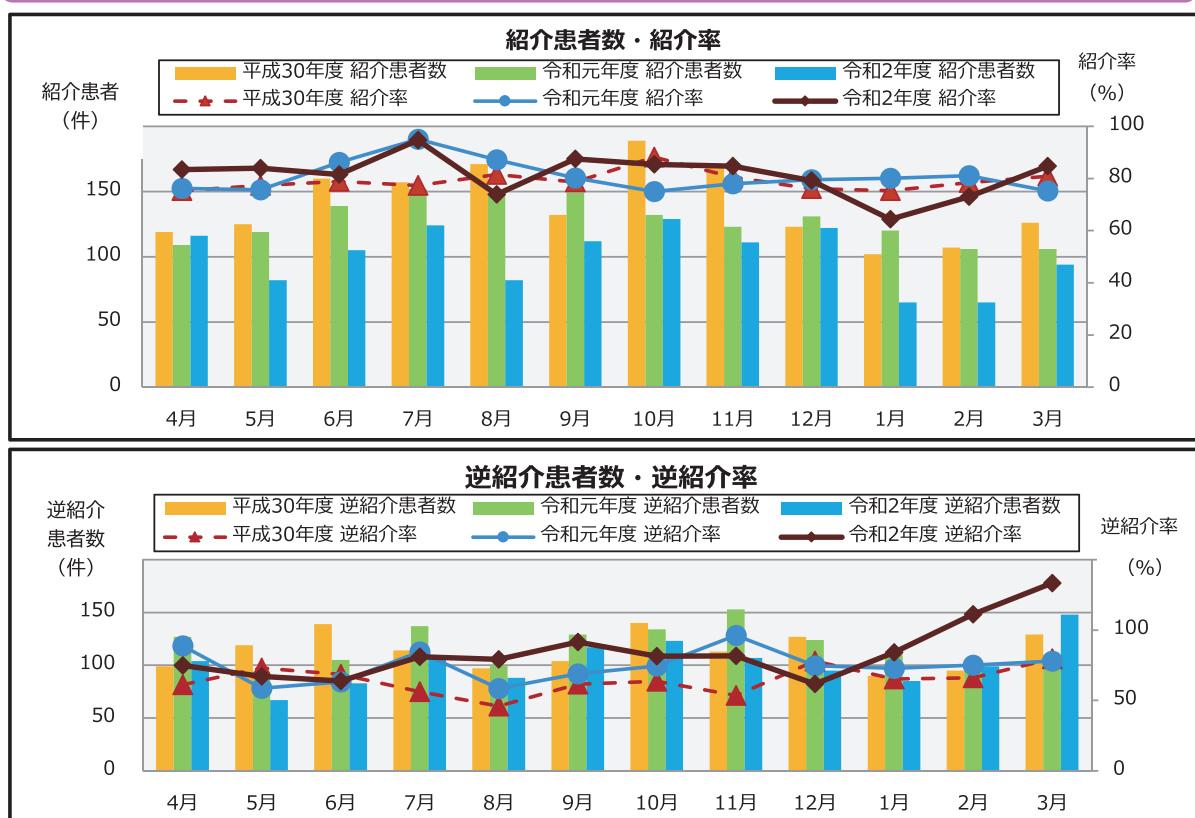
【時間外の対応について】



呼吸器疾患で緊急にご紹介いただく患者さまにつきましては
24時間対応させていただいておりますので夜間・休日に関わらず
下記にご連絡ください。

☎0852-21-6131（代表）または 0852-24-7671（地連）

1. 紹介患者数・紹介率 / 逆紹介患者数・逆紹介率の推移



2. 退院支援データ 毎週対象病棟で退院支援カンファレンスを実施しています

年度 月		R2 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
退院支援患 (人)		252	134	177	179	156	165	176	169	166	131	131	162
退院先	在宅 (人)	103	58	75	95	78	83	108	93	110	74	70	81
	施設 (人)	0	1	0	1	3	3	1	4	3	1	1	0
	病院 (人)	9	6	2	4	3	5	11	4	2	2	3	3

※逆紹介率とは、当院から開業医さんや他の病院へ紹介させていただいた患者さんの割合です。

逆紹介率＝逆紹介患者数÷初診患者数（休日、夜間の救急患者を除く）

外来診療表

お気軽にご相談下さい

令和3年4月1日現在

診療科	曜	月	火	水	木	金	専門領域
呼吸器内科	日	岩本(初)	西川(初)	木村(初)	門脇(初)	池田(初)	【呼吸器内科】 井岸 正 池田 敏和 小林賀奈子 木村 雅広 門脇 徹 岩本 信一 西川恵美子 坪内 佑介 【院長】呼吸器一般 【統括診療部長】呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般
	月	西川	小林	岩本	西川	木村	
	火	井岸	門脇	池田	坪内	小林	
循環器内科	水					生馬	【循環器内科】 生馬 勲 循環器一般 【脳神経内科】 中島 健二 古和 久典 足立 芳樹 中野 俊也 細田 義人 下山 良二 深田 育代 【名誉院長】脳神経内科（完全予約制・不定期隔週） 【副院長】脳神経内科 【臨床研究部長】脳神経内科 【診療部長】脳神経内科 脳神経内科・リハビリテーション 脳神経内科 脳神経内科
脳神経内科	木	中島 (完全予約制) (不定期隔週)	古和	深田	足立	交替制	
	金	中野	下山		細田		
呼吸器外科	土	荒木		目次		荒木	【呼吸器外科】 荒木 邦夫 目次 裕之 【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 松村 渉 【麻酔科】 西村友紀子 【診療部長】呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科 重症心身障害・小児神経・摂食機能障害 発達障害 麻酔科領域
小児科	日	久保田 (予約)	齋田 (予約)	齋田 松村 (予約)	久保田 (予約)	齋田 (予約)	
	月		(予約)				
麻酔科	火			西村 (予約)			【呼吸器内科】 井岸 正 池田 敏和 小林賀奈子 木村 雅広 門脇 徹 岩本 信一 西川恵美子 坪内 佑介 【院長】呼吸器一般 【統括診療部長】呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般
腰痛外来	水						
肺がん検診	木	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	
睡眠時無呼吸外来	金				呼吸器内科 担当医(予約)		【呼吸器外科】 荒木 邦夫 目次 裕之 【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 松村 渉 【麻酔科】 西村友紀子 【診療部長】呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科 重症心身障害・小児神経・摂食機能障害 発達障害 麻酔科領域
	土		呼吸器内科 池田(予約)				
喘息	日					池田 (予約)	
アレルギー外来	月						【呼吸器内科】 井岸 正 池田 敏和 小林賀奈子 木村 雅広 門脇 徹 岩本 信一 西川恵美子 坪内 佑介 【院長】呼吸器一般 【統括診療部長】呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般
咳嗽外来	火						
禁煙外来	水				毎週木曜日 呼吸器内科 担当医(予約)		
アスベスト外来	木		(予約)	(予約)	(予約)		【呼吸器外科】 荒木 邦夫 目次 裕之 【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 松村 渉 【麻酔科】 西村友紀子 【診療部長】呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科 重症心身障害・小児神経・摂食機能障害 発達障害 麻酔科領域
もの忘れ外来	金			深田			
セカンド オピニオン外来	土	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	

診療時間 8:30~17:15 受付時間 8:30~11:30
自動再来受付 8:00~11:30

独立行政法人 国立病院機構 松江医療センター
呼吸器病センター

〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号
電話 (0852) 21-6131(代)
医療連携室直通電話 (0852) 24-7671
医療連携室 F A X (0852) 24-7661



特 殊 外 来	肺がん検診	診療日：毎週月～金曜日 15:00～17:00 (要予約) 内容と特色：ヘリカルCTを使用し、小さな肺がんも発見できます。 料金5,500円
	睡眠時無呼吸外来	診療日：毎週木曜日 14:00～16:00 (要予約) 内容と特色：いびき、睡眠時無呼吸症候群の診断治療を行います。
	息切れ外来	診療日：毎週火曜日 13:00～15:00 (要予約) 内容と特色：息切れの診断と治療を行います。
	喘息 アレルギー外来	診療日：毎週金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：成人気管支喘息、花粉症。個人個人に合わせた予防法、日常生活指導から最新の治療まで。
	慢性咳嗽外来	診療日：毎週金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：3週間以上長引く咳(せき)や喉の異常感でお悩みの方。
	禁煙外来	診療日：毎週木曜日 10:00～12:00 (要予約) 内容と特色：禁煙を希望される方の検査、診断と相談に応じます。
	アスベスト外来	診療日：毎週火・水・木曜日 8:30～11:00 (要予約) 内容と特色：石綿(アスベスト)曝露による肺障害を発見するための検査と診断を行います。
	神経難病外来	診療日：毎週火・木曜日 9:00～12:00 神経難病外来
	もの忘れ外来	診療日：毎週水曜日 9:00～12:00 内容と特色：もの忘れの診断と治療を行います。
	小児科発達 専門外来	診療日：毎週月～金曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：ことばや運動の発達の遅れ、低身長などの発育の異常、ひきつけなどの疾患に対する診断・治療療育相談を行っています。投薬、理学療法など通常治療のほかダイケアでの遊戯療法も行っています。
来	腰痛外来	診療日：毎週水曜日 9:00～12:00 (要予約) 内容と特色：主にぎっくり腰などの痛みの治療を行っています。薬物療法や神経ブロックなどで痛みの緩和を目指します。
	セカンド オピニオン外来	診療日：(完全予約制) 紹介状が必要です。 内容と特色：呼吸器・呼吸器外科・脳神経内科・小児科(筋ジス)の専門医(医長)が担当いたします。